

Tuesday

8/7

“食”で自己管理能力を養う

第9回 スポーツ栄養教室

西浜校生徒を対象に、第9回スポーツ栄養教室（主催：多久市給食センター）が同校調理室で行われました。

この教室は、生徒自身が「きちんと朝ごはんを食べる重要性」など、食の大切さを学び、“食”で自己管理能力を養うことを目的に行われ、卓球部員と野球部員の10人が参加しました。

教室では、給食センターの管理栄養士中野純子栄養教諭から「安全・衛生・栄養」の授業が行われ、その後、梅ごはんやスタミナ夏野菜巻きなどの料理を教わりながら、生徒たちが実際に調理し、持参した弁当箱に詰めていました。参加した生徒は「こんなに時間がかかるとは思わなかった。家でできることを手伝いたい」とみんなで作ったお弁当をほおばりながら話しました。



▲完成した栄養満点のお弁当



▲にんじんの千切りに悪戦苦闘中

迫力ある山笠が練り回る

第70回 多久山笠

Wednesday

8/15

Thursday

8/16



▲三角山を組み立てる若衆たち



▲京町商店街を走る2台の提灯山

多久最大の夏祭・多久山笠（主催：多久山笠実行委員会）が今年も2日間に渡り、JR多久駅前で賑やかに開催されました。

今回で、70回目の節目とあり、餅投げや山笠甚句の披露で祭りが開幕。また、初の試みで提灯山笠が京町商店街を駆け抜けると、多くの見物客が路地に詰めかけました。

多久山笠保存会の鳥井勝久総取締役は「区切りの年の祭を若衆会や市民のみなさんに盛り上げていただき、本当にありがたいです。また、山笠が市全体の活性化につながればと思います」と話されました。

祭の最後は、過去最多の1,000発の打上花火が、夜空を明るく照らしました。

Saturday

7/28

Sunday

8/19

海外の文化に触れ、多様性を学ぶ

ボブ・ホーク スカラシップ

毎年、北多久町の株式会社オニザキコーポレーション（本社：熊本市）が、次世代を担う青少年の育成を目的に支援を行っている“ボブホーク スカラシップ（オーストラリア短期留学）”に、東原彦舎中央校8年の今村優花さんと、東原彦舎西浜校8年の田中翔琉さんが参加しました。

留学期間中は、シドニーでホームステイしながら、語学学校へ通い、さまざまな国のの人たちと一緒に語学や文化などを学びました。今村さんは「最初の3日は不安だったが、ホストファミリーが親切ですぐに慣れることができた」と話し、田中さんは「将来、国際空港のスタッフの仕事に就きたいので、今回の経験を生かしたい」と話されました。

（写真：今村 優花さん提供）



▲語学学校の友人たちとの記念撮影



▲語学学校の先生との一枚